



福島県郡山市立

郡山第五中学校

発行者 校長 村上文生

令和2年12月23日 第10号

# ～学校だより～

教育目標： 自学 共生 自立

## ～コロナ禍の中での学校教育を振り返って～ PARTIV

コロナ禍の中での学校教育を振り返ってPARTIVでは秋から冬にかけての教育活動を振り返ります。

### 1 LTE 対応タブレット端末の導入



タブレット端末を活用した授業

9月にLTE対応のタブレット端末が本校に160台整備されました。生徒たちの学習ツールの一つとしてとても便利で、効果的に授業が行われています。写真は3年生の音楽科の授業の様子ですが、今回導入されたタブレット端末は非常に使いやすく、どの教科の授業でも有効に活用されています。社会科や理科などの授業時の意見交換や、保健体育科のマット運動などでのカメラ機能（動画機能）を活用した振り返りの学習、様々な調べ学習（インターネット検索機能）で160台のタブレット端末はフル稼働しています。今後は、対面授業が困難になった際などに、各家庭に端末を持ち帰り、オンライン学習でも活用できます。

### 2 新制服決定



冬制服



夏制服



女子用スラックス



全校生による制服投票

来年度の入学生から制服が新しくなります。8月に制服検討委員会を立ち上げて、計4回の話し合いを経て、このような制服に決定しました。10月1日には、全校生の制服投票も行いました。

写真は、左から冬制服、夏制服、女子用スラックス（希望購入）です。

### 3 四校PTA連絡協議会開催

12月3日、赤木小、桃見台小、大島小、郡山五中の四校の教員とPTA役員等が一堂に会して、今年度のコロナ禍におけるそれぞれの学校の学校運営、PTAとして協力体制等について1時間程度情報交換を行いました。今年度は、第1回四校PTA連絡協議会を開催することができず、2回目の連絡協議会は是非開催したいという各学校のPTA会長の熱い思いを受けて行うことができました。たくさんの情報交換ができました。わずか1時間でしたが有意義な時間でした。これからも手を取り合いながら四校が協力して学校教育を前に進めることを確認して閉会しました。



テーマごとに分かれて情報交換

### 1年間のご協力に感謝

本日は、第2学期の終業式です。コロナ禍における五中の教育をなんとか無事終わることができました。皆さまの2020年の本校の教育に対するご協力に心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年は3月から臨時休業を余儀なくされ、今年度当初は、教育課程も計画どおり進めることができず、中体連大会や音楽関係行事も延期や中止を強いられました。3年生が一番楽しみにしていた修学旅行も9月に延期されました。しかしながら、このような状況にあっても、全校生の誰一人コロナに感染することなく、生徒たちは我慢しながら頑張りました。間もなく、新しい年を迎えます。来年はコロナが終息し、生徒たちが伸び伸びと学校生活を送ることができるように祈るばかりです。保護者の皆様、地域の皆様、2020年大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。